

## 学習活動2：根気よく主の御心を行うよう努める

とても難しそうなことをするように頼まれたときのことを深く考えてみてください。主は預言者ニーファイに困難な戒めを与え、邪悪なニーファイ人に悔い改めを呼びかけるように求められました。困難なことであったにもかかわらず、ニーファイは主の御心に従うために熱心に努めました。

ヒラマン10：4-5を読み、ニーファイの忠実さを見て、主が何と言われたか見つけてください。

これらの聖句から学ぶことができる一つの真理は、主の御心を行い、根気よく主に仕えようとするとき、主は様々な方法でわたしたちを祝福してくださる、ということです。

- 主の御心を行うのが難しくなる原因は何でしょうか。
- 主について何を思い出せば、自分の思いよりも主の御心に容易に従えるでしょうか。

これらの節で使用されている「根気よく」という言葉は、努力や勤勉を意味します。

- イエス・キリストが根気よく天の御父に仕えられたことには、どのようなものがありますか。
- 現代ではどのように、天の御父とイエス・キリストに根気よく仕えることができるでしょうか。

天の御父の御心を求め、根気よく主に仕えるための目標を考えてください。目標を学習帳に記録するとよいでしょう。

## 学習活動3：結び固めの力

あなたが主に求めれば、それが何であれ、成し遂げる力を主が与えてくださると想像してください。神は預言者ニーファイに、ニーファイが「〔神の〕思いに反することを求めないので」（ヒラマン10：5）、彼が望むものは何でも与えると言われました。

ヒラマン10：7を読んで、主がニーファイに授けられた、何かを行う力を一つ見つけてください。

7節に記されている力は、結び固めの力と呼ばれています。この聖句から、結び固めの力は地上においても天においても結び、解くことを学ぶことができます。結ぶとは、接続したりつないだりすることで、解くとは、接続を切ったりつながりをなくしたりすることを意味すると知っておくとよいでしょう。

7節で述べられている結び固めの力は、エリヤ（列王上17：1参照）、ペテロと使徒たち（マタイ16：15-19；18：18参照）、ジョセフ・スミス（教義と聖約132：46参照）が持っている結び固めの力と同じです。この同じ力の鍵は、今日、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長と、大管長が委任する人たちが持っています。この力によって、家族は神殿の儀式を通して永遠の結び固めを受けることができます。

- 天の御父は、なぜ、わたしたちが、現世と来世に適用される聖約を立てることを望んでおられるのだと思いますか。
- 家族を永遠に一つに結び固めることができると知っていることで、あなたはどのような祝福を受けてきましたか。
- 家族は永遠に一つに結ばれることができると知っていることは、今のあなたの考えや選択にどのような影響を与えますか。